

授業科目	障害児（者）心理学特論		担当教員	眞田 英進	
展開方法	講義	単位数	2単位 選択	開設時期	後期
【授業目標】					
<p>インクルージョン体制による特別支援教育が推進する現在、支援関連の専門的知識・技能は必修である。本科目では、まず、障害児の心理及び行動の基本を理解するとともに、心理行動関連条件を考察する。さらに、臨床的な支援対応の実践に資する専門的知識や技能の修得と向上を目指している。言及予定の対象障害として、感覚（視覚・聴覚）障害、知的障害、運動障害、自閉症スペクトラム、学習障害、ADHD、等を取りあげる。軽度発達障害児に対する心理教育臨床方法の知識・技能の向上も目指したい。</p>					
【授業方法】					
<p>主として講義形式で授業を行う。ただし、講義時間配分においては、講義担当者が基本的情報の提供を行った後に、受講者からの意見・見解・感想等を毎回求め、双方向的な内容時間展開を意図している。</p>					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害概念 2. 障害児対応支援の現在までの動向 3. 障害区分と教育的応 4. 視覚障害児の心理・行動 5. 聴覚障害児の心理・行動 6. 言語障害児の心理・行動 7. 知的障害児の定義 8. 知的障害児・発達傾向 9. 染色体異常児の心理・行動 10. 知的障害児の早期介入支援 11. 脳性麻痺児の心理・行動 12. 自閉症スペクトラムー（1） 13. 自閉症スペクトラムー（2） 14. 自閉症スペクトラムへの心理行動的対応 15. 発達障害の定義と支援的対応 16. 評価 					
【評価方法】					
<p>出席実績、意見発言、討論状況、レポート等総合的見地から評価する。</p>					
【教科書・参考書】					
<p>教科書 特に指定しない。必要プリントは配付する。 参考書 適宜、紹介する。</p>					
【学生に期待すること】					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義者の基調情報提供に関して、積極的意見表明と活発な相互討論への参加を期待する。 ・準備学習（予習・復習）に関する指示：講義計画内容に関わる基本的な障害区分毎の概念用語を調べておく（予習）。講義の後、授業内容を吟味し、さらに関連する文献を探索し検討する（復習）。 					